

半於花
七月娥眉尾花振袖

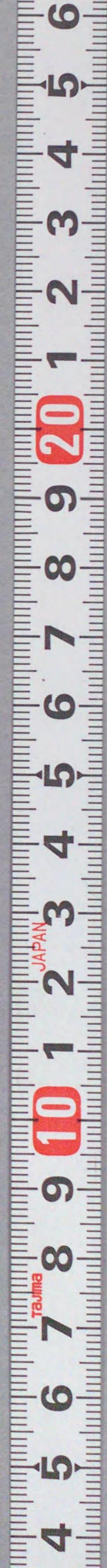
山東京山

207
954

圖書藏
朝



花半
京山
泉画
如左の如し



山東庵京山作 文政國春

於花

つまは まゆ としな 乃 ちり とて

月娥眉尾志振袖

半七

全六冊

溪齋英泉画 錦森堂梓

壹

昌平れ澤 城産陽は浴者雅曹た才子粹よたるそむりとの
極大良かあし山乃系我とし八狸の玉舟よよふ出未合七敵討ハ紙子
乃東地古書く鯨合のたきつそく新まと世利高ハ業屋社桂川張
関取れ名く一佐城梅川を鼓女舟子仕立鏡山小尾上伊太ノ繪川
小累并筒意外ハ出城以流行とま久稱史の系非を裁場も又
月小新チたる名人作者れ志皇馬小蠅の力もなきやうなも流行ハ
おれれトと拙き業城深なりと團十良ハ梅幸茶お花並七
ら名のそ致智ハ陽ハ流又れ水ハ城約束して存ハ娥眉尾志の
振袖と題して二上り此象まききうしひわらふおん

山東庵京山識





比伎判官 正當長臣
 實琴 四郎 左門
 刀屋研 右衛門
 女房控 刀室

骨董集三編 京山補遺稿
 本朝古印考 京山百樹選
 食物沿革考 全編

傳兵衛女房 於之海
 扇谷 刀屋研右衛門娘 於花
 手代半七

女粧考 京山百樹著
 此六傳國の女風は上古中古迄古くは腰下
 日つらなれた村らの根かんぎびんひの油を
 の船ををそら麗をわさるののり
 御座いひまを女風にかかりし考を加へ
 あげりし及國をのせりし考を加へ

鎌倉松葉谷 比伎家中 嘉田水弥九郎
 村の漁者 衛兵傳

穴守 蟹藏
 下總國 平目





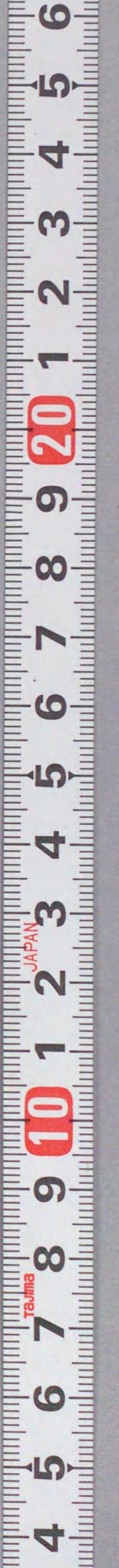




Handwritten Japanese text in kuzushiji script, located below the illustration on the left page.



Handwritten Japanese text in kuzushiji script, located below the illustration on the right page.





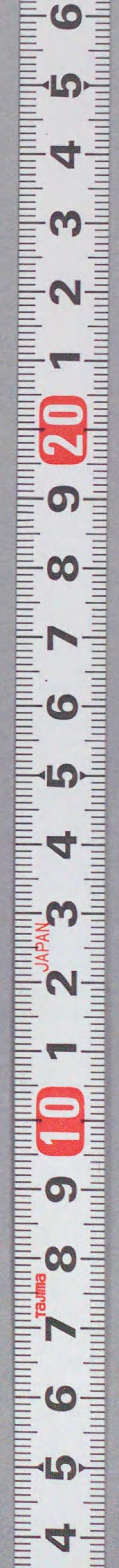
Handwritten Japanese text in vertical columns, located above the illustration on the left page.

Small vertical text on the left edge of the page.



Handwritten Japanese text in vertical columns, located above the illustration on the right page.

Small vertical text on the right edge of the page.



Handwritten text in vertical columns, likely a chapter introduction or a scene description. The text is written in a cursive style (sōsho) and occupies the upper and lower portions of the left page, framing the central illustration.



Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or providing commentary on the scene. The text is written in a cursive style (sōsho) and occupies the upper and lower portions of the right page, framing the central illustration.





字典

せんせんとせんせい
上りのやうな
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい

せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい

せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい

せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい
せんせいのせんせい

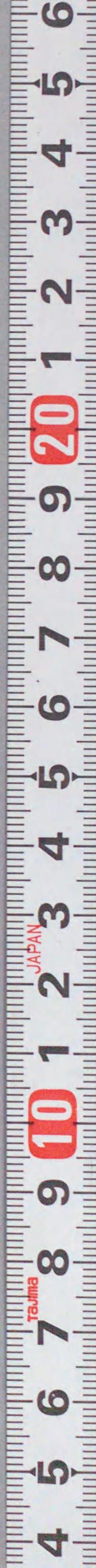




Handwritten text in vertical columns, likely a narrative or commentary. The text is written in a cursive style (sōsho) and is arranged in several columns across the top and left sides of the page. Some characters are circled or highlighted.



Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or commentary. The text is arranged in several columns across the top and right sides of the page. Some characters are circled or highlighted.



當歸散 一包八文
 ゆび茶 一貝十二文
 万能膏 一貝十二文
 美艷香 一包廿四文
 ちとめ煎茶 一包八文

たびばら人妙女あーにぬれぬ及びむも少も是のついで
 くされをいよこまおーまめらしくわり大妙や
 わひはぬいのそりこんぎふのなつてぬげばてい
 うまをまらけしてあつめぬ之ぬいやく一切の妙やく
 うちこんどきやこれつまりひあきればぬえれりの
 傷とあつちううあつたきにつけて大めうやく
 びりこのつひに月ひてりらわくーつやま
 あつちうとまうけし又もぬれぬあつち
 きりきんちとめれあうやくさげあつちあつち
 うそのかうみちらつていぬりぬるこ



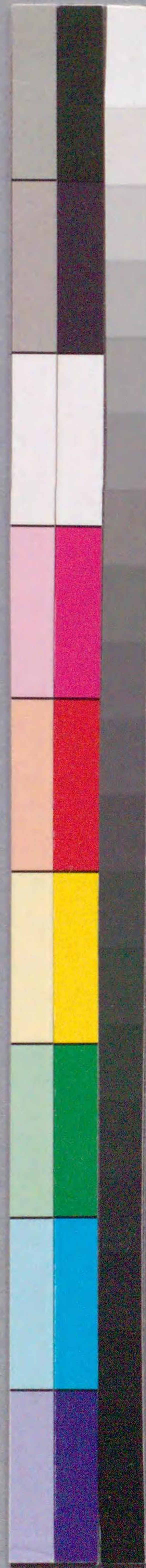
書林

大野屋惣八

尾列名古屋長嶋町五丁目



京山作
 英泉画
 備書 藍庭晋米



英泉画
京山作

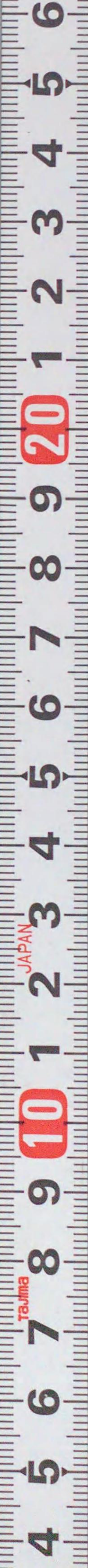
お花

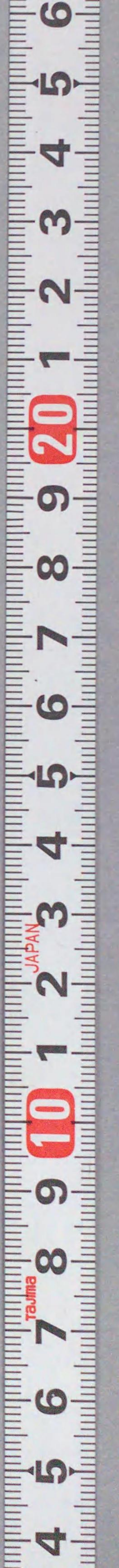




〇わだつゝ月あけも夕
 ぐれにそめゝまはく
 ころののこしあやう
 せやうらりぐあんと
 きりてこのごまへひら
 わり二生の次ちかあひ
 うらわりののこや
 ころりやまのんが







うらやまの心持は
あつたまに人をもアア
もつたまに人をもアア
これぞうらやまの心持
うらやまの心持は
あつたまに人をもアア
もつたまに人をもアア
これぞうらやまの心持
うらやまの心持は
あつたまに人をもアア
もつたまに人をもアア
これぞうらやまの心持



うらやまの心持は
あつたまに人をもアア
もつたまに人をもアア
これぞうらやまの心持
うらやまの心持は
あつたまに人をもアア
もつたまに人をもアア
これぞうらやまの心持

うらやまの心持は
あつたまに人をもアア
もつたまに人をもアア
これぞうらやまの心持
うらやまの心持は
あつたまに人をもアア
もつたまに人をもアア
これぞうらやまの心持



うらやまの心持は
あつたまに人をもアア
もつたまに人をもアア
これぞうらやまの心持
うらやまの心持は
あつたまに人をもアア
もつたまに人をもアア
これぞうらやまの心持







おせまれば
さうさう
このまゝ
おれは
うくま
あらし
くま
まのす
おれは
おれは
おれは

おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは

おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは



おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは

おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは
おれは

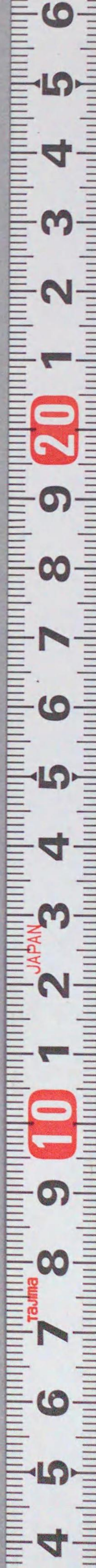




六

江戸

廿六



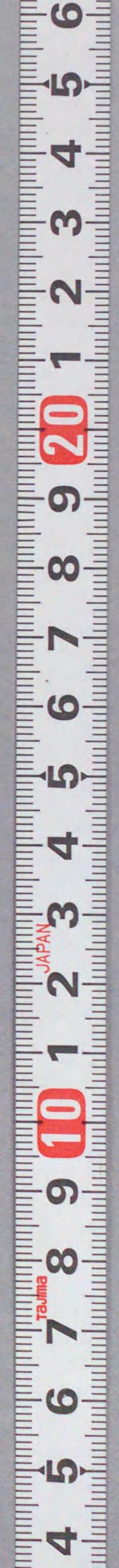


①モシおんあ
 さやあやこ
 さんハあやこ
 こころまき
 あいこちのんハあ

①
 女房おんあ
 きりり
 ②
 かつて波の日
 傳まがらあいの
 せきしやがゆが
 女房おんあ
 きりり

①
 せんて傳まがらあいのせんて
 きのころやよののうまに入る
 それにひても今も花の
 なるでまはばらるる
 めやあやのひしはあま
 己をさあまのあまの
 おうらうまかのせんきこ
 りあまのうらうら
 あやせんあはたあまの
 おんあやせしひあま
 せんせんあまのあまの
 そのあまあまのあまの
 じあまのあまのあまの
 りあまのあまのあまの
 わりあまのあまのあまの
 けあまのあまのあまの
 けあまのあまのあまの
 けあまのあまのあまの









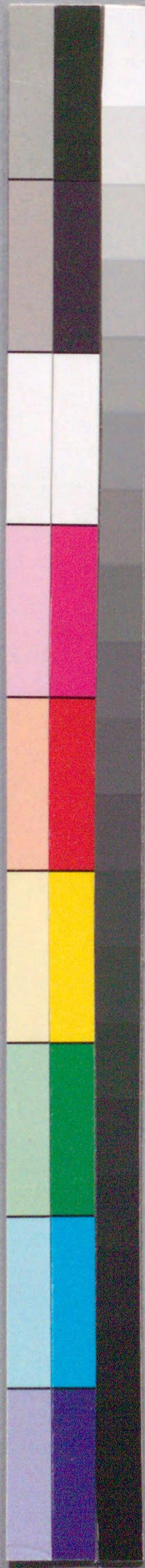
207
954

国立国会図書館

月娥眉尾花振袖 6巻 207-954

ガラス使用





国立国会図書館 月娥眉尾花振袖 6巻 207-954

ガラス使用